

埼玉佛教

平成30年1月 第213号

平成30年1月5日 発行
 No.213
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 木村 盛雄
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



「第39回埼玉県佛教徒大会」(川口リリア・平成29年10月25日〔水〕)

編集後記	12	事務局日誌	12	訃報	12	埼玉県佛教幼児画展(予告)	11	年賀名刺広告	11	第37回埼玉人権フォーラム	11	狭山事件市民集会	10	「解放同盟」	9	高知県視察交流会	9	第18回理事・議会議長要請行動	8	「人権埼玉実行委員会」	7	「埼玉同宗連」現地学習会	6	第44回佛教徒会議福島大会	6	財団創立60周年記念式典	6	「全仏」	5	トピックス	5	第23回仏教講演会	5	東松山・滑川仏教会	5	第19回わかる仏教講演会	5	鴻巣市仏教会	4	地区仏教会だより	4	第39回埼玉県佛教徒大会	3	第10回埼玉佛敎文化講座(予告)	3	受章報告	2	宗教法人研修会	2	新年挨拶	2	目次	
------	----	-------	----	----	----	---------------	----	--------	----	---------------	----	----------	----	--------	---	----------	---	-----------------	---	-------------	---	--------------	---	---------------	---	--------------	---	------	---	-------	---	-----------	---	-----------	---	--------------	---	--------	---	----------	---	--------------	---	------------------	---	------	---	---------	---	------	---	----	--



新年挨拶

一般財団法人埼玉県佛教会

会長 木村 盛雄



謹んで新年のお祝いを申し上げます。お陰様にて当会2大行事、埼玉県各流讃佛歌奉詠大会（9月12日・埼玉会館）、埼玉県佛教徒大会（10月25日・川口リリア）も盛大に円成する事ができました。これも参加者、関係各位のご助力の賜と篤く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、若い世代の活躍がめざましい年でした。夏の高校野球では、加須市にある花咲徳栄高校が埼玉

県勢として、初めて優勝し高校球児たちの活躍に胸を熱くしました。また、将棋界では、連勝記録こそストップしたものの、14歳の藤井聡太四段が史上最年少棋士でデビューー戦以来歴代単独一位となる29連勝。大谷翔平投手の大リーグ入団など。明るいニュースは続き、皇室では眞子さまのご婚約発表、日本全体がパッと明るくなるような素晴らしいニュースが多かったように思います。

一方、製造業で発覚した品質データ改ざんや、無資格検査問題などの相次ぐ不祥事は、日本の「ものづくり」への信頼を根本から覆しかねないものであるばかりか、私たちの日常生活までも脅かそうとしております。

自然災害では、昨年3月に栃木県那須山中で登山講習会に参加していた高校生と引率の先生を含む8人が雪崩の犠牲に、7月には九州北部を襲った集中豪

雨が河川の氾濫、土砂崩れが家屋の全半壊を招き、甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が奪われました。

一人ひとりが生き生きと暮らせるよう、「心配ごと」を抱えている人たちに親身になって「心の安らぎ」を手引きする事が、誠の菩薩行であり宗教者としての本願であると思います。

結びに、心穏やかに過ごせる日々が訪れますよう祈念いたしまして年頭あいさつといたします。

合掌



【平成29年度 宗教法人研修会】 13:30～16:00

- (1) 埼玉県における基本的な事務手続きについて (60分)
- (2) 「食の安全・安心確保」(60分)

- 平成30年2月2日(金) 熊谷会場 熊谷地方庁舎・4階大会議室
- 平成30年2月9日(金) さいたま会場 埼玉佛会館・1階多目的ホール

お問い合わせ先 埼玉県総務部学事課 総務・宗教法人担当

電話 048-830-2568

平成二十九年

おめでとうございます

秋の叙勲・褒章

瑞寶雙光章

佐藤 秀弘 師

(朝霞市・二乗院 更生保護功労)

瑞寶雙光章

若盛 正城 師

(松伏町・寶珠院 教育・保育功労)

藍綬褒章

岩田 光哲 師

(さいたま市・誓願寺 矯正教育功績)

藍綬褒章

星野 泰雄 師

(本庄市・安養院 調停委員功績)



第10回 埼玉佛教文化講座

入場無料・要参加申込

《開催》平成30年2月15日(木)

開場13時00分、開会13時30分、閉会15時50分〈予定〉

会場：埼玉会館・会議室〔さいたま市浦和区高砂4-13-18〕



近年、神社仏閣を巡り、御朱印を集める方々が増えております。今回は、巡礼作法、御朱印の意義や歴史、御朱印のもらい方などをお話いただきます。

《演題》「札所巡礼」

～札所巡礼の心構えと御朱印の意義、歴史を学びましょう～

《講師》^{いしかわ}石川 ^{りょうわ}良和 先生 真言宗智山派・那古寺住職
(坂東三十三観音霊場、三十三番結願寺／千葉県館山市)

■お申込方法…開催案内ちらし裏面の参加申込書(同封)に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。〔FAX 048-864-6649〕

※開催日が近くなりましたら「参加確認証」をお送りいたします。

※お申込が定員(80名)に達し次第、受付を終了いたします。予めご了承ください。

※駐車場なし。

第39回埼玉県佛教徒大会

平成29年10月25日(水)、川口

総合文化センター・リリア「音楽ホール」において第39回埼玉県佛教徒大会が開催された。今大会は川口佛教会(小堤孝雄会長)が主管となり、南部地区の各仏教会が後援した。

大会テーマは「ほとけのこころ皆笑顔」で参加者は県内外各地から約600名。大会の総合司会は、尾辻正純師(昌福寺内)が務めた。

小堤孝雄実行委員長の開会のことばにより開会。続いて、法楽が厳修され、木村盛雄会長が主催者あいさつを行った。続く来賓あいさつでは、全日本佛教会総務部次長の西岡慈圓師からごあいさついただいた。

記念講演では、講師に落語家で天台宗僧侶の露の団姫師を迎え「落語家・まるこの仏道修行」と題し、仏教落語をご講演

いただいた。

— 講演内容 (※) —

自身作の仏教落語「仏はキミをホットケない」で来場者を笑顔にした。両親が大の落語好きだったことで「落語家」を目指す一方で、幼少期に祖父の死に接したことをきっかけに宗教を求めて「僧侶」になることも志したと団姫さん。「山川草悉有仏性」「一隅を照らす」の教えをあげながら「仏教の教えが、この先の人生、どんなにつらいことがあっても元気に生きていけるという活力になる」と話し



た。クリスチャンの男性と結婚したことにも触れ、「私にとって結婚は修行。キリスト教の夫は僕にとっては試練ですって」と笑いを誘い、「私にとってお釈迦様は親のような存在。旦那からしたらそれはキリストさん。親は違って当たり前。結婚したらお互いの親を大事にする」と信仰心の大切さを説いた。

続いてソプラノ歌手の田中麻理さんのリードとオルガンの伴奏にのって参加者全員で「ふるさと」などの唱歌を合唱した。

第二部のアトラクションは会場のパイプオルガンを使用して

行われた。初めに、バッハ協会管弦楽団・合唱団監督山田康弘氏によるパイプオルガンの演奏が行われた。パイプオルガンは、手と足に鍵盤がありストップとというレバー操作が複雑に組み合わせられて奏でられるという。実際に山田さんの両手両足が忙しく動き、楽器というよりも大きな装置を全身を使って操作しているかのように見えた。演奏に

また福島伸悦師から、第40回大会は平成30年10月20日(土)





に開催を予定し、会場の選定や内容については現在協議を進めているとの報告がなされた。

大会の結びに、川口佛教会の清水秀隆大会副実行委員長から謝辞が述べられ閉会となった。

『**県佛大会義援福祉募金報告**』

第39回埼玉県佛教徒大会の開催当日、参加の皆さまからお預かりした義援福祉募金の合計金額は283、262円になった。募金は川口佛教会から、川口社会福祉協議会へ寄託し、社会福祉事業に役立てていただく。

地区仏教会だより

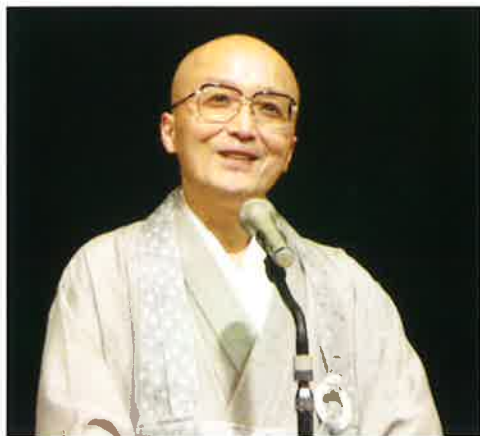
第19回わかる仏教講演会

鴻巣市仏教会

平成29年11月9日(木)、鴻巣市仏教会(明見弘道会長)は鴻巣地区仏教研究会(馬場俊行会長)との共催により、クレアこのす大ホールにおいて、「第19回わかる仏教講演会」を開催した。参加者約900名。この講演会は隔年で開催され、当日は講演会を心待ちにした参加者で会場は盛況であった。

第1部では梅花流と密厳流の合同で御詠歌奉詠が行われ、70名近い講員さん方が登壇されている様子は華々しさを放っていた。奉詠後の開会行事では法楽、主催者あいさつ、来賓あいさつ、来賓紹介が行われ、第2部の講演会に移った。

講演会は講師に臨済宗円覚寺



横田 南嶺 師

派管長で花園大学第二代会長の横田南嶺師。『仰げば光あり』を演題に講演された。『私たちは影があると、それにとらわれてしまいがちですが、影ができるのは光が照っている証拠。うつむけば影、でも振り向いて仰げば光』と仏教詩人と呼ばれた坂村真民の詩から「影あり、仰げば光あり」を紹介しながら、仏教や禅についての教えに触れつつ、お互いがこの世に人間として生きる道についてお話しされた。

講演後に講師へ謝辞と記念品贈呈が行われ、閉会となった。

「第23回仏教講演会」

東松山・滑川仏教会

平成29年11月19日(日)、第23回を数える東松山・滑川仏教会(大澤貫秀会長)主催「第23回仏教講演会」が東松山市民文化センターで開催され、600余名の参加者が集まった。開会式は、大澤会長のあいさつに始まり、法要は担当の曹洞宗、吉田憲正導師のもと加盟各宗派の代表が登壇し会場一同で般若心経をお唱えした。

講演に先立ち、吉成元明師(滑川町・興長禅寺)から講師の紹介が行われた。講師は、栃木県足利市にある曹洞宗明林寺住職で相田みつをと無二の親友であった西田正源住職の次男として生まれた西田正法師。『ご縁を頂く―縁を生かし縁に生きる―』と題し講演された。

以下、講演内容一部抜粋―



縁起を空あるいは無と表現したりする。「空」という言語にはゼロや空っぽではなく、インドの言葉で「膨張するもの」という意味を表す。つまり、一つの関わりがそれだけで終わるのではなく、次から次へと様々な縁を呼び込んで膨張していく、それが本来の縁の姿というもの。

自分が若い頃、人生とは自身自身の意志や努力で我が道を歩むと思っていた。だから機会ごとに「ご縁だから」と言われると、自分の意志や努力がないが

しろにされている気がして「ご縁」という言葉に抵抗を抱いていた。ところが、自分が年を取った時、実はそれらの物事が、ご縁の中で選ばれていたのだとしみじみと思った。仏教の中で「縁」とは決して棚ぼた的なものではなく、本来は頂くもの。

言葉としては善縁・悪縁、良縁・逆縁と表現するが、仏教の中に善悪はない、善悪を決めるのは自分の心である。今このとき、自分に降りかかってきた善縁はもちろんのこと、逆縁、悪縁こそ人生の教師としてしっかりと頂いて向き合う。今この場所（土地の縁）、あの時（時の縁）、この人を選んで（人の縁）今幸せにしているというように、生まれてきて善かった、生きていて善かった、生きてきて善かったと思える人生をお過ごしください。

講演終了後、羽根尾隆弘副会長から謝辞が述べられ閉会となった。

トピックス

「財団創立60周年記念式典」 「第44回全日本 仏教徒会議福島大会」

平成29年10月13日（金）～14日（土）、（公財）全日本仏教会は「ご縁をかたちに、絆を行動に―私からはじまる―」を大会テーマとして「財団創立60周年記念式典」を福島県郡山市内のホテルハマツ、翌日「第44回全日本仏教徒会議福島大会」がビッグパレットふくしまにて開催された。

初日の記念式典では、「財団創立60周年記念被災物故者追悼・関係物故者追悼・被災地復興祈念法要」が厳修された。式典後は、芥川賞作家の玄侑宗久（げんゆうそうきゅう）師により「無常と『あはれ』」と題し、講演が行われた。玄侑師

は、地震や津波、その他様々な災害が日本には昔から頻繁にあり、それが日本人の気持ちや文化を作り上げてきた面が「非常に大きい」と気づかれたそうです。そのうえで、「無常である」という気分と、『あはれ』、無常とばかりいっていられないという反対の気分が両方尊重されたのが日本」ではないかとお話された。それは、「矛盾」ではなく、「両方」という考え方で、「忘れようという気持ち



と忘れられないという、この両方を保たなければならなかった」という、災害に限らず、様々な経験をされる方の心情を表現された。

翌日は、「第44回全日本仏教徒会議福島大会」がビッグパレットふくしまで開催された。

全日本仏教会会長の小峰一允師



を導師に真言宗智山派の職衆のもと、復興祈願法要が厳修され、被災物故者の追悼および

被災地の復興が祈念された。法要後は加藤登紀子氏のライブコンサートが行われた。また、当会から震災復興に役立ててもらえるよう福島県仏教会に義援金を寄託した。

本会から、深谷雅良専務理事、河野亮玄・馬場知行常務理事、大嶋法道評議員、さらに越谷市

仏教会から樋口円准会長、加藤弘詔事務局長、そして事務局から小池康宏・本間照康主事補が参加した。金子嘉広事務局長は財団創立60周年記念式典部会の一員として職責を全うした。その他、専務理事の随同行として2名が参加。

埼玉県宗教連盟 「平成29年度研修旅行」

平成29年10月30日（月）～31

日（火）、1泊2日の旅程で『平成29年度「埼玉連」研修旅行』

（木村盛雄理事長）が実施された。参加者は44名で、本会からは5名が参加。今回は天理教が

担当で、天理教本部と檀原神宮を参拝した。初日は、東京駅に

集合し、新幹線で京都駅へ。そこから近鉄特急に乗り換え、檀

原神宮前駅に到着。木枯らし1号が吹き、思いの外の寒さに驚

きながら、バスで昼食会場「柿の葉ずしヤマト」へ移動。昼食

の後に日本建国の聖地・檀原神宮へと向かった。檀原神宮では、

内拝殿において正式参拝を行い、神社の方からお話をいただいた。檀原神宮は第一代神武天皇と皇后の媛蹈鞬五十鈴媛命（ひめたたらいすずひめのみこと）をお祀りしている神社で、明治23年の創建。昨年平成28年は神武天皇が崩御されてから2600年の年で、4月3日に

「神武天皇二千六百年祭」が開かれたという。また、今年の9月30日には奈良県宗教者フォーラムが檀原神宮で開催され、内

拝殿において「平和祈願祭」が行われたとのこと。毎年「平和の祈り」を開催している埼玉県宗教連盟にとって不思議な縁

を感じる参拝であった。檀原神宮の次は、明日香村にある高松塚壁画館へ移動し、「飛鳥美人」として知られる壁画の複製や副

葬品のレプリカのほか、建物の外にある復元された高松塚古墳を見学した。見学の後は、駅前

にある檀原ロイヤルホテルにて疲れを癒し、初日は終了。

2日目は、天理教本部へ。前日は違って暖かい日差しの下、まず、「おやさとかた」の会議室で天理教基礎講座を受講した。天理教は、天保9（1838）

年10月26日、教祖（おやさま）中山みきが天理王命（てんりおうのみこと・親神様）の「神のやしろ」となったことから始

まったとのこと。はじめの十数年は誰も教祖のお話に耳を傾けなかつたが、やがて「をびや許し」（安産の守護）をはじめと



にある檀原ロイヤルホテルにて疲れを癒し、初日は終了。

2日目は、天理教本部へ。前

日は違って暖かい日差しの下、

まず、「おやさとかた」の会議室で天理教基礎講座を受講した。天理教は、天保9（1838）

年10月26日、教祖（おやさま）中山みきが天理王命（てんり

おうのみこと・親神様）の「神のやしろ」となったことから始

まったとのこと。はじめの十数年は誰も教祖のお話に耳を傾け

なかつたが、やがて「をびや許し」（安産の守護）をはじめと

する様々なおたすけが現れたことで広まっていったという。その他に、天理教では、信仰を決めた日を「元一日もいちにち」と言って非常に大切にしており、そのきっかけとなった出来事などを代々受け継いでいくことや天理教の原典の説明などがあり講座は終了。つづいて聖地「ぢば」にある神殿、礼拝場へ。聖地「ぢば」とは神が陽気ぐらしを見て共に楽しみたいと思ひ、人間を創造した元の地点、すべての人間のふるさとのこと。その中心には「かんろだい」と呼ばれる台が据えられており、四方の礼拝場から拝めるようになっていゝ。すべての人間のふるさとであるため、天理教では本部を訪れることを「おぢば帰り」と言い、参拝に来た人を「おかえり」と迎える。礼拝場は24時間開放しているそうで、多くの人がおつとめの歌を唱え、手振りをして祈りを捧げていた。神殿の次は、教祖のお住まいである「教祖殿」、

中山家をはじめとする祖霊が祀られている「祖霊殿」をそれぞれ参拝し、最後に天理本通り商店街にて自由散策を楽しんだ。広大な敷地に巨大な建物群、熱心に祈りを捧げる多くの人を見て、この地が天理市となった理由を肌で感じる事ができた参拝であった。その後は、大和郡山市で昼食をとり、近鉄奈良駅へ。近鉄特急で京都駅、新幹線で東京駅へ移動し、解散となった。

「埼玉同宗連」

「埼玉同宗連」現地学習会

平成29年11月9日(木)、美里町現地学習会が開催され、各教宗派から約10名が参加した。今回のテーマは「児玉地区の差別戒名について」。講師には部落解放同盟埼玉県連合会統制委員長、部落解放同盟児玉郡市協議



会議長で美里支部長の中澤明子氏をお迎えした。

美里町コミュニティセンターに集合し真東寺へ移動した。廣田賢也副議長のあいさつの後、差別墓石萬霊供養塔の参拝を行い、中澤氏による説明がなされた。「美里町萬霊供養塔」は、現存する差別墓石問題について注視できなかったことに、行政、教育、仏教会とも深く反省し、早急な解決を目標に歩み始め、差別墓石を有する施主、行政、住職、解放同盟をはじめ地元運動体で数度にわたる話し合いがもたれた結果、差別戒名が単な

る過去のものではなく、現存していることよって、結婚や就職を妨げ、差別の再発生につながる恐れのある極めて重要な課題であり、一刻も放置できない問題であるとの結論に達し、昭和63年8月30日に差別墓石対策推進委員会を結成した。その後、3年間にわたる話し合いの結果、平成3年1月7日から建設工事を開始し、同年3月25日に完成した。また、同年4月3日美里町仏教会主催による萬霊供養塔追善法要が行われた。

参拝と説明を拝聴した後は近



くにある「遺跡の森館」において美里町の伝統的なお祭りの『百八燈』に関するビデオ学習を行った後、フィールドワークで猪俣地区にある『百八燈』を訪れた。伝統的で楽しいお祭りの陰にも6、7年前までは部落地区の子どもは参加することができなかつたという話を聞き、一日も早い部落差別解消を願わずにはいられなかつた。

フィールドワーク終了後は同宗連委員で本会常務理事の衆原恒久師が謝辞と総括を述べ閉会となった。

「人権埼玉実行委員会」

「第18回知事・

議会議長要請行動」

平成29年10月19日(木)、人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会(木村盛雄会長)は、「第18回知事・議会議長要請行動」を県

議会議長室および県知事公館で実施した。午前11時から知事公館で行われた要請行動では要請団を代表して本会の木村盛雄会長が代表あいさつを行い、「昨年12月に部落差別解消法が制定されたが、人権が尊重される住みよい社会づくりのためには、この法律に基づいた教育・啓発が重要。ぜひ積極的な取り組みをお願いしたい」と述べ、上田清司知事に要望書を手渡した。最後に、「埼玉同宗連」議長の倉持光恭議長の閉会あいさつで行動を閉じた。



要望書を埼玉県知事へ

「高知県実行委員会との

視察交流会」

平成29年11月22日(水)から2日間の行程で「人権埼玉実行委員会」は埼玉県と高知県実行委員会との視察交流会を実施した。「解放同盟」からは小野寺一規氏、「埼玉同宗連」としては事務局の小池康宏主事補が参加した。その他、埼玉人企連や行政を合わせて10名が参加。

22日朝、羽田空港に集合し空路で高知入りし、高知市内にある高知県人権啓発センターを訪問して高知県実行委員会との意見交換を行った。

まず部落解放同盟高知県連合会副会長の竹村暢文氏が歓迎のあいさつを行い、続いて埼玉県を代表して小野寺一規氏があいさつを行った。

その後、「解放同盟」高知県連の山戸庄治書記長から「高知県における取り組みの現状と課



題」についてのお話を聞き、各団体から、その取り組みが報告された。高知県にはまだ「同宗連」がないが結成の機運は高まっているとの説明があった。

翌日は、長浜市民会館会議室にて開会行事を行った後、初めにDVD「教科書無償化運動」を視聴し、続いて「解放同盟」長浜支部長の光内聖賢氏(みつうちょう)から当時のお話「教科書無償化運動の光と影」を拝聴した。質疑の後、

一行は長浜地区に場所を移し、

「解放同盟」長浜支部の武田誠雄書記長の案内により、長浜市民会館の前身である自彊館（無償化闘争当時の運動拠点）の跡地や、婚約相手の父親による結婚差別のために自殺した宿毛市の青年、池上誠氏の追悼碑レプリカのある廣願寺（本願）、南海中学校の紫雲丸事故記念碑などを視察し長浜地区のフィールドワークを実施した。

「解放同盟埼玉県連」

「狭山事件の再審を

求める市民集会」

平成29年10月31日(火)、13時から日比谷野外音楽堂で行われた狭山事件の再審を求める市民集会「不当有罪判決から43年！いまこそ事実調べ・再審再開を！」に「埼玉同宗連」から藤井壽雄師（本願）、廣田賢也師（曹洞）が参加した。

集会に先立って、埼玉県の独

<p style="text-align: center;">謹賀新年</p> <p style="text-align: center;">本年もよろしく お願い申し上げます</p> <p style="text-align: center;">合掌</p> 	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 会長 所沢市 持明院住職</p> <p style="text-align: center;">木村盛雄</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 副会長 真言宗智山派 三学院住職</p> <p style="text-align: center;">倉持秀裕</p> <p>〒335-0001 蕨市北町3-2-4 電話 048-443-2125 FAX 048-443-2544</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 副会長 本庄市 城立寺住職</p> <p style="text-align: center;">加藤玄静</p> <p>〒367-0052 本庄市銀座3-4-7</p>
<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 専務理事 水光山大應寺 住職</p> <p style="text-align: center;">深谷雅良</p> <p>〒354-0011 埼玉県富士見市水子一、七六五 TEL 〇四九-二五一-五六二一 FAX 〇四九-二五一-五六〇一</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p style="text-align: center;">浄土宗 蓮馨寺</p> <p style="text-align: center;">住職 糸原恒久</p> <p>川越市連雀町七番地一 電話 〇四九-二二一-〇〇四三 ファックス 〇四九-二二六-〇六七六</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p style="text-align: center;">山口正純</p> <p>川口市安行原二〇〇八 (宗密藏院)</p>	<p style="text-align: center;">天台宗 東泉寺 住職 叡山講 福聚教会 埼玉本部事務局長 (二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p style="text-align: center;">河野亮玄</p> <p>〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎二一-一五-三 TEL 〇四八-八八六-一五二四 FAX 〇四八-八八六-一四一五 HP http://www.urawa-tosenji.com/</p>
<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p style="text-align: center;">曹洞宗 寶持寺</p> <p style="text-align: center;">住職 馬場知行</p> <p>鴻巣市箕田二〇三四 TEL 〇四八-五九六-〇七二九 FAX 〇四八-五九六-七二二四</p>	<p style="text-align: center;">一般財団法人埼玉県佛教会 理事</p> <p style="text-align: center;">曹洞宗 金澤寺 住職</p> <p style="text-align: center;">宮寺守正</p> <p> 〒350-0305 比企郡鳩山町泉井二二七六 電話 〇四九-二一九〇-三七三三 http://kontakuji.com</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 理事</p> <p style="text-align: center;">天台宗 慶福寺 住職</p> <p style="text-align: center;">関口亮樹</p> <p>〒349-0115 蓮田市蓮田四一-一〇四 電話 〇四八-七六八-一五三七 FAX 〇四八-七六八-二二一八</p>	<p style="text-align: center;">(二財)埼玉県佛教会 理事</p> <p style="text-align: center;">沼田正順</p> <p style="text-align: center;">日蓮宗妙昌寺住職</p> <p>川越市三光町一九番地 電話 (〇四九)二二二-二四一四</p>

自集会が行われ、「埼玉同宗連」元議長藤井壽雄師らがあいさつをした。集会には全国から石川一雄さんの支援者2500名が集まり、ミニコンサート、主催者挨拶、再審請求人の石川一雄さん・早智子夫人によるアピール、弁護団報告、基調提案、連帯アピール、市民の会アピールなどが90分にわたって行われた。続いて再審を求めて日比谷公園西幸門―内幸町―数寄屋橋―東京駅八重洲口前―常盤橋公園までの約3キロを約1時間かけてデモ行進した。最後に団結ガソリンバローを行い解散。



「第37回埼玉人権フォーラム」

平成29年11月16日(木)、熊谷文化創造館さくらめいとで「第37回埼玉人権フォーラム」が「世界の人びとと共に人権運動の輪を広げ、平和と人権の21世紀を創造しよう」を集会テーマに開催された。「埼玉同宗連」からは約80名が参加し、全体としては解放同盟をはじめ行政、教員、企業を含めて約900名が参加した。全体会では、解放同盟埼玉県連書記長の小野寺一規氏が基調報告をし、その後、近畿大学人権問題研究所の奥田均教授が『部落差別解消推進法成立の意義と課題』と題し、記念講演を行った。午後は分科会に分かれ、第2分科会の「人権教育・啓発の促進」では、高野山真言宗の備前島賢光師(元「埼玉同宗連」議長)から「宗教団体の人権啓発活動」が報告された。

<p>〒三三〇〇〇五二 さいたま市浦和区本太一四二二二</p> <p>天台宗 延命寺</p> <p>住職 河野亮仙</p> <p>電話 (048) 八八二一六三九〇 FAX (048) 八八五二二六六六</p> <p>http://www.enmeiji.com</p>	<p>真言宗智山派 岩槻大師 彌勒密寺</p> <p>住職 上村正剛</p> <p>〒339 0057 さいたま市岩槻区本町二七七一三五</p>	<p>親鸞聖人旧跡 浄土真宗本願寺派 楠井山 清浄寺</p> <p>住職 藤井壽雄</p> <p>〒342 0045 埼玉県吉川市木売一〇一五 電話 (048) 九八一六〇〇〇 FAX (048) 九八一六〇八〇 J R 武蔵野線「吉川」駅南口三分</p>	<p>真言宗智山派有勝寺住職 大正大学名誉教授</p> <p>博士文学 吉田宏哲</p> <p>〒367 0032 埼玉県本庄市栗崎一五五 TEL 〇四九五一二四二二九〇 E-mail kousekiji_yoshida@yahoo.co.jp</p>
<p>真言宗豊山派</p> <p>観照院</p> <p>〒343-0851 越谷市七左町七一二七八 TEL 〇四八一九六二二五六九五 FAX 〇四八一九六二二五六九六</p> <p>住職 鷺津憲道</p>	<p>川口佛教会</p> <p>会長 小堤孝雄</p> <p>〒三三四一〇〇六三 川口市東本郷一五〇六 曹洞宗傑傳寺内</p>	<p>妻沼仏教会</p> <p>会長 備前島賢光</p> <p>妻沼地区仏教会</p> <p>会長 蓮清三郎</p> <p>事務局 熊谷市妻沼六二七 歓喜院内 鈴木英秀</p>	<p>第33回埼玉県佛教幼児画展</p> <p>《日時》平成30年 1月27日(土) 13時〜17時 1月28日(日) 10時〜16時</p> <p>《場所》 さいたま市文化センター</p>

討報

お悔やみ申し上げます。

平成29年 8月

18日 秩父市惣圓寺(浄土)

山極 隆信 師(81歳)

9月

9日 新座市蓮光寺(智山)

上田 秀典 師(72歳)

10月

3日 日高市光音寺(智山)

小口 興良 師(74歳)

24日 長瀨町法善寺(妙心)

高桑 善枝 師(94歳)

28日 越谷市玉泉院(豊山)

林 文信 師(84歳)

11月

2日 行田市高太寺(曹洞)

松本 正明 師(88歳)

県佛元代議員

5日 春日部市小流寺(大谷)

小島 秀夫 師(88歳)

12月

14日 熊谷市醫王寺(高野)

備前島 永尊 師(72歳)

事務局日誌



平成29年 10月

13日▼「全仏」財団創立60周年

記念式典(福島県ホテルハ

マツ)

14日▼第44回全日本仏教徒会議

福島大会(ビッグパレット

ふくしま)

19日▼「人権埼玉」第18回県知

事・県議会議長要請行動

(知事公館、県議会議長室

／木村会長、金子局長)

25日▼第39回県佛大会(川口リ

リア)

30日▼「埼玉宗連」研修旅行(天

理市／31日)

31日▼狭山市民集会(日比谷野

外音楽堂／永堀)

11月

9日▼「埼玉同宗連」現地学習

会(美里町／金子局長、本

間、永堀)

▼第19回わかる仏教講演会

(クレア鴻巣／小池)
16日▼「解放同盟」第37回埼玉

人権フォーラム(熊谷さく

らめいと／金子局長、本間、

永堀)

19日▼「第23回仏教講演会」

(東松山市民文化センター

／小池)

21日▼「人権埼玉」埼玉県との

事務折衝(浦和・あけぼの

ビル／本間)

22日▼「人権埼玉」高知県実行

委員会意見交換・視察交流

会(高知県／小池／23日)

12月

1日▼「全仏」第3回広報委員

会(港区、共同通信社東京

本社／小池)

19日▼「埼玉佛青」写仏

21日▼「人権埼玉」第2回幹事

会(マロウドイン熊谷／本

間)

28日▼仕事納め

編集後記

ジャイアントパンダの子ども
香(キョウ)の一般公開が始まった。幼
少の頃、連れられて行った動物
園には、いつも笹を布団におし
りを向けて寝ているパンダ。当
時は動かず静止画での写真撮影
に協力、最近は動画
撮影やSNS映えに
協力してくれるのか
よく動き回る。(鯉)



媒介蚊防除マニュアルの策定について(通知)



埼玉県では、 Dengue熱やジカウイルス感
染症など蚊媒介感染症の世界的な発生動向
を踏まえ、これらの感染症の県内感染事例
が発生した場合に備え、防除の手順を策定
しました。ホームページ検索サイトで「埼玉
県媒介蚊防除マニュアル」を検索してくだ
さい。

お問い合わせは…埼玉県保健医療部保健医療政策課
(感染症・新型インフルエンザ対策担当)
電話048-830-3557